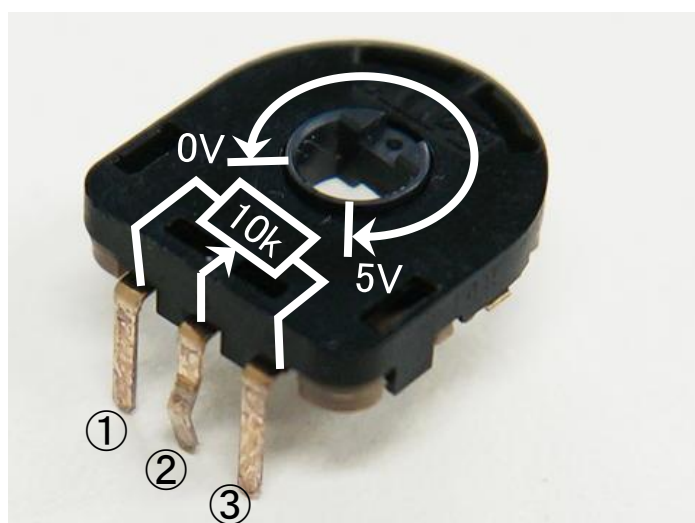


■概要

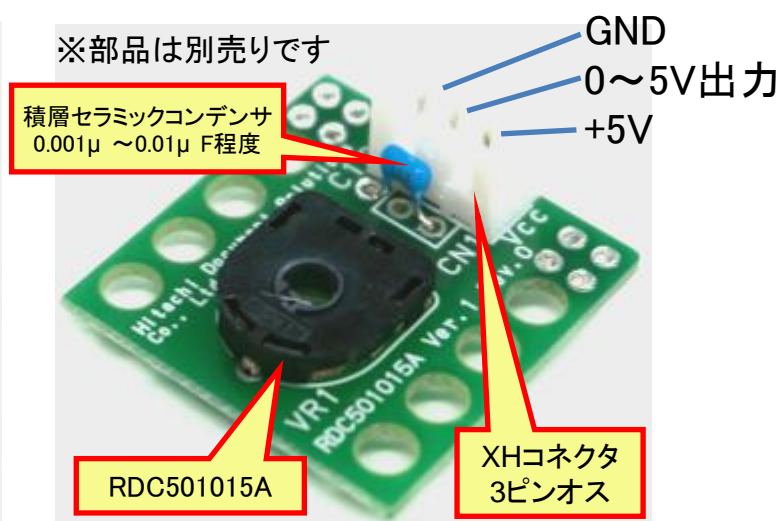
【M-S242:ポテンショメータ(10kΩ RDC501015A)】は、Advanced Class対応の自作サーボマイコンカーのステアリング角度の検出や、坂道の検出などに使用できるボリュームです。

【M-S334:ポテンショメータ(RDC501015A)取り付け基板】は、RDC501015Aを取り付けることのできる基板です(基板単体販売です)。

【M-S339:ポテンショメータ(RDC501015A)取り付け基板セット】上記2種のセットです。



M-S242: ポテンショメータ(10kΩ RDC501015A)

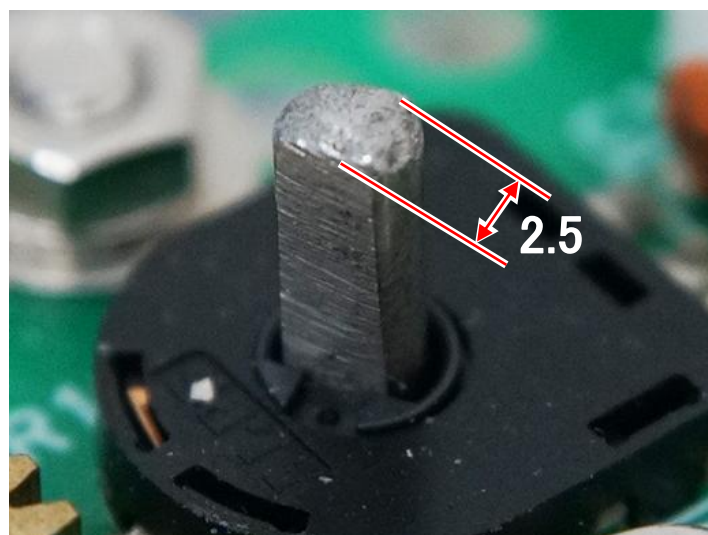
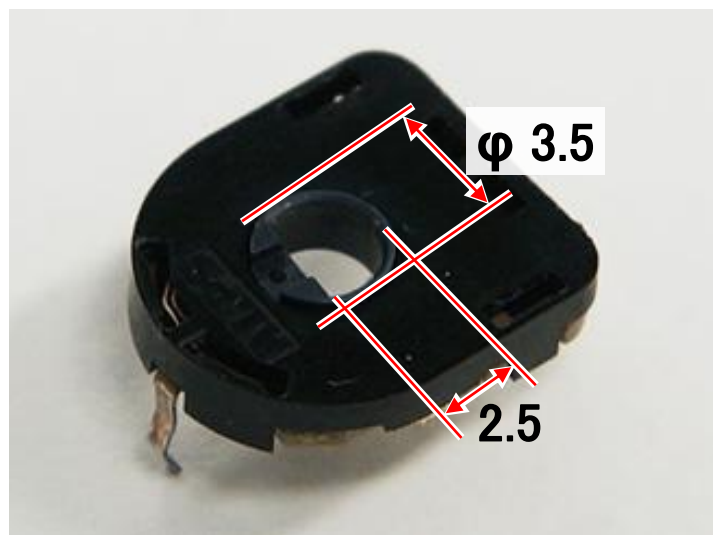


M-S334: ポテンショメータ
(RDC501015A)取り付け基板
部品実装例

■RDC501015A データシート

詳細寸法などはデータシート(下記URL)を参照ください。

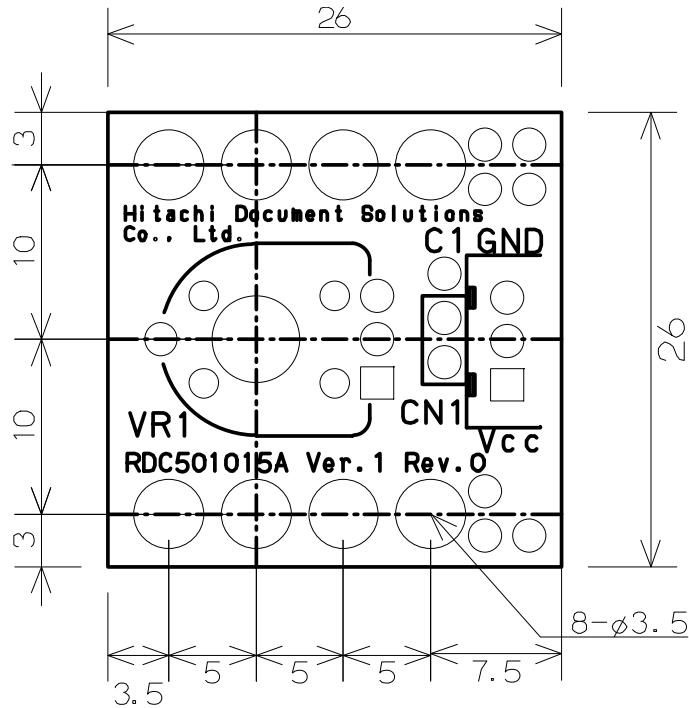
<http://www.alps.com/prod/info/J/HTML/Sensor/Position/RDC50/RDC501015A.html>



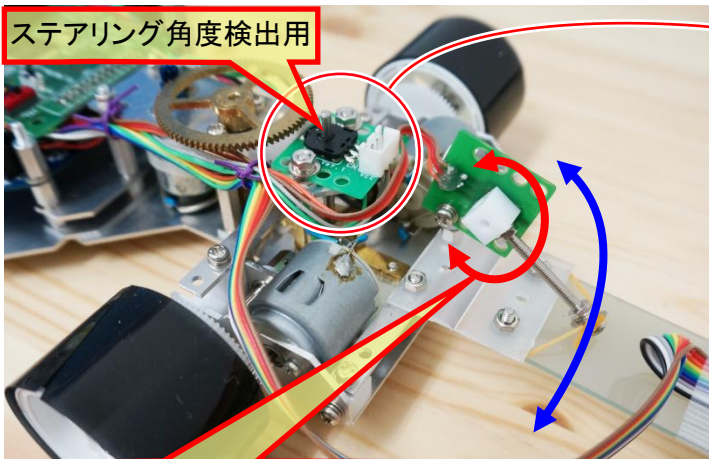
φ 3mmのシャフトを通すときは、Dカット部分が2.5mmになるようにヤスリなどで削ってください。

■ポテンシオメータ(RDC501015A)取り付け基板の寸法

基板は5面付けされています。Vカット部分より割り取って使用してください。



■使用例



上り坂・下り坂でセンサーバーが上下したときに(青色線)、ポテンシオメータの可動部が回転するよう取り付けすることで(赤色線)、坂道検出センサとして使用可能です。



シャフトをDカット(D型に面を取る)して、ポテンシオメータに差し込みます。ステアリングの角度に合わせてシャフトが回転する角度をポテンシオメータで検出します。